

## 平成30年度環境保全活動「田植え」についての報告

熊本県環境保全協議会では、熊本地域の地下水かん養に貢献するため(公財)くまもと地下水財団の水田オーナー制度を利用し、菊池郡大津町真木地区において、会員企業の社員、及びその御家族で田植え、稲刈りを実施しています。

今年は前日までの悪天候で開催が危ぶまれましたが、当日は絶好の田植え日和となり、6月9日(土)に参加企業15社、参加人数120名で水が張られた田んぼに苗を植えてきました。

今年も本田技研工業(株)熊本製作所様の駐車場を集合場所にお借りして、田植えの現場まで大型バス2台で移動しました。今年は(有)七城観光バス様の御好意で「くまモンバス」を貸出いただき、参加者のお子様はもちろん大人の方まで大変喜んでいただき、移動の間も楽しく過ごせました。



開会式では、池田副会長(熊本銀行)から開催の御挨拶をいただきました。

また、来賓として熊本県環境生活部より田中部長、久保局長に御参加いただきました。



開会式後は田んぼで農家さんの説明を受けながら、横に張った糸に沿って一直線に苗を植えていきました。



田植え後は、参加者の皆さんで記念写真を撮り、田植えを終了しました。



田植え終了後は場所を旧真城小学校に移し、お弁当をいただきました。

また、くまもと地下水財団より地下水についてのレクチャーをしてもらい、ゲームや本で地下水について学んだり、クイズでは景品のお米2kgを当てた参加者もいたり、楽しい時間を共有できました。



また、「くまもとグリーン農業」※応援宣言の申込も同時に行い、45通の申込をいただきました。

今回も田植えに御参加いただきました会員企業の皆様、農家の皆様、企画委員の皆様方のお力添えをいただき、無事に開催、終了することが出来ました。

イベントに関わっていただいた全ての皆様に心より御礼申し上げます。

また、10月には稲刈りの実施も計画しておりますので、積極的な御参加をお待ちしております。

今後とも熊本県環境保全協議会の活動に御賛同いただきますよう、お願い申し上げます。

※土づくりをして、化学合成された農薬や肥料をできるだけ減らした“環境に配慮した農業”のことを熊本県では「くまもとグリーン農業」と呼んでいます。応援宣言は、くまもとグリーン農業を広めるために消費者や会社などが取り組む事をそれぞれ宣言するというものです。